

# 日刊 動労千葉

1988.1.18  
No.2740

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二九三五六・(公衆)〇四七二二二七〇七

## 「六三・三ダイ改」をめぐって、JR当局は、新会社のイメージアップのために大キャンペーンをおこなっている。いわく、「日本列島地続き時代の幕開け」「過去最高の増発」「痛勤緩和、スピードアップで主要都市間大幅短縮へ」「アイデア競うJR各社」……等々、うたい文句は、全てバラ色でうめつくされている。

しかも、この大キャンペーンは、動労革マル・鉄道労連と一体となつておし進められている。鉄道労連は、昨年末の定期中央委員会において「JR発足一周年に当たつての感謝の意を表する」「全国のレールがつながる画期的な事業をPRする」運動と称して、「ダイヤ改正キャンペーン」「三大運動」のひとつとして位置づけおし進めている、としているのである。

### 「六三・三ダイ改」は、分割・民営化体制翼賛運動

われわれは、当局・鉄道労連一体となつた異常ともいえる大キャンペーン自体のなかに、「六三・三ダイ改」の恐るべき本質を見ぬかなければならぬ。すなわち、JR当局・鉄道労連は、「六三・三ダイ改」を分割・民営化体制翼賛運動としておし進めているのである。このキャンペーンの意図は、「ダイ改に対する反対の声など一切許さない」、「反対する者は國賊だ」ということである。そして、キャンペーンの背後に、要員削減の問題、さまざまな労働強化の問題、運転保安や安全の問題、労務支配の実体などは、一切ぬり隠されているのだ。

国鉄分割・民営化攻撃以前は、当局やマスコミといえども、ダイヤ改正時には、「今次ダイヤ改正で〇〇人の要員削減……」というように、少くとも、要員や労働条件問題にも必ずふれざるを得なかつたことを思いおこして見れば明らかなどおり、「六三・三ダイ改」はまさに分割・民営化体制翼賛と国鉄労働者をさらに奴隸のような状態におとし入れ、労働千葉や国労など闘う労働組合を解体しようとする企業防衛運動として進められてゐるのである。

□□口座番号 東京〇一三五三六六四  
□□座名称 日刊動労千葉編集委員会

### 郵便振替口座開設のお知らせ

購読者のみなさんはいろいろと御迷惑をおかけしてきましたが、今回郵便振替口座を開設しましたのでご利用下さい。

箇 所	関係職	「63.3」標準数	「61.11」定数	記 事
若狭野支店	車両	88	93	・機動班の見直し ・仕業検査班の見直し
	動乗	37	38	・技術担当要員の見直し ・機動班の見直し ・ATC班の見直し ・仕業検査班の見直し ・誘導担当要員の見直し
幕張支店	車両	161	171	・木原線廃止 ・仕業検査班の見直し
同木更津支店	車両	15	23	
津田沼支店(本店)	動乗	89	94	・その他予備要員の見直し ・ホーム予備要員の見直し
千葉支店	動乗	167	162	・ダイヤ改正に伴う列車増発 および乗務行路の見直し ・その他予備要員の見直し ・ホーム予備要員の見直し
銚子支店	助役	7	6	・ダイヤ改正に伴う列車増発 および乗務行路の見直し
	動乗	87	74	
勝浦支店	動乗	62	76	・木原線廃止 ・ダイヤ改正に伴う列車増発 および乗務行路の見直し ・臨要員の見直し
館山支店	車両	3	6	
動乗	65	63	・ダイヤ改正に伴う列車増発 および乗務行路の見直し ・臨要員の見直し	

※貨物は、要員関係については、まだ提案されていない

シリーズ  
2

「六三・三ダイ改」の旗を鮮明に!  
の旗を鮮明に!

しかも現在、この大合理化攻撃に対する労働者の側からの絶対反対の宣伝や運動がまったくおこなわれていないのである。国労中央指導部が、この攻撃を前にして、昨年十二月二十八日、奴隸協約の無条件締結を決定したことにも明らかなどおり、あらゆる勢力が攻撃を前に屈してしまつているのだ。

だからこそわれわれは、「六三・三ダイ改」攻撃との闘いを構築するにあたつて、まず冒頭に確認しなければならないことは、四・一分割・民営化体制粉碎、「六三・三ダイ改」絶対反対の立場を明確に掲げぬくことである。  
反対・運転保安闘争を軸に、「六三・三ダイ改」阻止の闘いの体制を全力でつくりあげよう。  
(つづく)